

中学生におすすめの本

姫路市立城内図書館

あしながおじさん

J. ウェブスター作 福音館書店 GYーウ

みなし児のジュディは、作文が上手なことを、孤児院の評議員のひとりにみとめられ、その人の援助で大学に行かせてもらうことになりました。それは、毎月一度、大学生活のようすを手紙で知らせることが条件でした。ジュディはこの紳士を“あしながおじさん”と呼んで、大学生活の驚きや喜びを機知に富んだ文章で書き送ります。

運命の騎士

ローズマリ・サトクリフ作 岩波書店 GYーサ

城の犬飼いとして育ったランダルは、ふとしたことから城主の怒りをかうが、城主との賭けに勝った楽人に救われ、騎士エベラードに預けられる。15歳になり、エベラードの従者となった彼は、騎士チボーの陰謀をあばいてエベラードの領地を救う。11世紀末のイギリスを背景に、騎士エベラードへの忠誠と、その孫ベービスとの友情の中で、やがて自らが騎士となるまでを生き生きと描いた物語。

王への手紙上・下

トンケ・ドラフト作 岩波書店 GYード

見習い騎士のティウリは、騎士叙任式の前夜、最後の試練に耐えていた。一晩中、飲まず食わずで、小さな礼拝堂で寝ずに過ごし、一言も話してはいけないのだ。ところが、見知らぬ男が生死にかかわる件で助けを求めてきた。ティウリは、重要な手紙を託され、大山脈のかなたの隣国へ向かうことになった。手紙を奪おうとする者たちに命を狙われながら、ティウリは危険な旅を続ける。

海底二万海里

J. ベルヌ作 福音館書店 GYーヴ

1866年頃、世界中の海で不思議な難破事故が続発した。何百隻もの船が、クジラよりもはるかに大きく、ずっと速い《なにかばかでかいもの》と衝突したのだ。この怪物の正体を確かめるため、アロナックス教授は助手と共に遠征船に乗り込んだ。やがて船は怪物と遭遇し、海に投げ出された教授たちは、潜水艦の中に引き入れられた。怪物は巨大な潜水艦ノーチラス号だったのだ。ネモ艦長の指揮する潜水艦で、驚異の海底世界一周旅行が始まった。

科学と科学者のはなし

寺田寅彦著 池内了編 岩波書店 40ーテ

あめの表面から角が生えてくる現象を取り上げた「金米糖」。虫はいったい何を考えているのか？ 電車の混雑の法則は？ 日常生活では見過ごしてしまうようなことでも、じっくり観察すれば思いもかけない科学の法則が存在する。明治から大正、昭和にかけて物理学者として活躍した寺田寅彦の科学エッセイ。

クローディアの秘密

E. L. カニグズバーグ作 岩波書店 GYーカ

クローディアはいつも優等生であることに我慢できなくなり、弟をさそって家出することにした。何事も計画的にやりたい性格のクローディアが家出先に選んだのはメトロポリタン美術館だった。美術館でこっそり暮らしはじめた2人は、美術館が新たに買い入れた天使像にひきつけられる。その像はミケランジェロ作かもしれないとされていた。2人は像の作者にまつわる謎を解こうと決心する。

九つの銅貨

W. デ・ラ・メア作 福音館書店 GYーデ

荒れはてた城壁の中に住む少女グリセルダは、ある日、不思議な目をした小人のおじいさんから、取引を持ちかけられます。おじいさんは、9日の間、グリセルダの家の仕事をするかわりに1ペニー銅貨を9つ支払うように、というのです。ところが約束の日がきて、銅貨を入れた壺をあけると、お金は全て消え失せていました。（「九つの銅貨」）この他、56年間も眠り続けて、博物館に展示された3人の小僧たちの物語など、不思議で美しい5編の物語がおさめられています。

コンチキ号漂流記

トール・ハイエルダール著 偕成社 299ーへ

太平洋のポリネシア諸島には太陽の子チキの巨石像がある。ノルウェーの学者ハイエルダールは、それが南米の石像に似ているところから、昔、ポリネシア人の先祖は海を渡って南米からやってきたと考えた。その仮説を証明するためジャングルのもで筏を作り、6人の仲間と共に南米ペルーから南太平洋の島までの航海に乗り出す。本当にあった冒険の物語。

西遊記 上・下

呉承恩作 福音館書店 GYーゴ

天、地、日、月の精を受けた仙石から生まれた石猿は、修行のすえ通力を得て孫悟空と名乗り、天界に官を得るが、天界を騒がせ、五百年の間、山に封じられる。取経のため西へ向かう三蔵法師に助けられた孫悟空は、沙悟浄、猪八戒とともに三蔵の供をして西域へ向かう。現存する最も古い「西遊記」を基にした読み応えのある本格的な訳本。

シェパートン大佐の時計

フィリップ・ターナー作 岩波書店 GYータ

大工の息子デイビッドは、片足が不自由だが想像力豊かな少年。彼の家には、長い間預けられたままになっている古い大時計がある。それは、第一次世界大戦前夜に謎の死を遂げたシェパートン大佐のものだった。デイビッドは、農場の息子で活発なアーサー、牧師の息子で発明好きのピーターとともに、大佐の秘密を調べ始める。

少年動物誌

河合雅雄作 福音館書店 Yーカ

著者が少年時代をすごした丹波篠山を舞台にした自伝的短編集。縁日で買ったモルモットで一儲けを考えるが、増えすぎて手に余すことになったり、幼鳥を育て始め、餌取りに奔走するが、それがつまらないゴイサギであることがわかりがっかりする。一昔前の豊かな自然の中、素朴で、腕白な兄弟たちと動物の交流を描く。

タチ

ジェームズ・オールドリッジ作 評論社 GYーオ

モンゴルの少年バリユートとイギリスの少女キティーの間にとりかわされた手紙から成り立っている物語。バリユートが発見した貴重な蒙古野馬のタチは、捕らえられ、キティーのいるイギリスの野生動物保護地に送られた。ところがタチは、牝の子馬(ポニー)をつれて、保護地から逃げ出してしまふ。はるかな故郷モンゴルをめざして。

地下の洞穴の冒険

リチャード・チャーチ作 岩波書店 GYーチ

ジョンは夏休みを田舎の親戚の家で暮らしていましたが、ある日、古めかしい洞穴の入口を見つけます。ジョンはこの洞穴を探検するために秘密クラブの仲間を集めて作戦会議を開きます。準備を整えた5人の少年たちは、暗く大きな洞穴を進んでいきますが、途中で深い穴に降りたジョンともう1人の少年が、思わぬことから穴の上に戻れなくなってしまいます。

時の旅人

アリソン・アトリー作 岩波書店 GYーア

少女ペネロピーは、親戚の古い農場に預けられる。その屋敷は昔、荘園領主の館だった。ある日、ペネロピーがあるドアを開けてみると、16世紀の貴婦人達が座ってゲームをしていた。時を超えて現在と過去を往復するうち、400年前にそこで暮らしていた人達と親しくなり、やがて囚われのスコットランド女王を秘密の通路で脱出させようとした歴史上の大事件に立ち会うことになる。

飛ぶ教室

エーリヒ・ケストナー作 岩波書店 GYーケ

ヨーニー、マルチンら高等中学高等科1年生の5人の少年たちは、クリスマスに学校で上演する「飛ぶ教室」という劇の稽古をしていました。そこへ同級生が、実業学校の生徒に襲われ、もう1人が捕らわれたと駆け込んできます。彼らは捕虜になった友人を救い出そうとするうちに、なかよしの世捨て人「禁煙先生」が彼らの尊敬する舎監の先生の親友だったことに気づき、2人を再会させます。

ニルスのふしぎな旅上・下

セルマ・ラーゲルレーヴ作 福音館書店 GYーラ

13才の男の子ニルス・ホルゲルソンはいたずらが大好きで、そのうえ、役立たずの乱暴者でした。ある日、妖精トムテにひどいうちをしたニルスは、魔法によって小人にされてしまいます。そして、白ガチョウのモルテンの背中に乗って、スウェーデン縦断の旅に出掛けることになります。ツルのダンスを見てうっとりしたり、キツネにおそわれて危機一発の目にあったり、不思議で楽しい出来事が次々と起こります。

ハックルベリー・フィンの冒険上・下

マーク・トウェイン作 福音館書店 GYート

放浪児のハックルベリー・フィン、ダグラスおばさんにひきとられたが、酔いどれの父との再会で、元の生活に戻ってしまう。ひと芝居うち、父から逃げ出したハックは、逃亡してきた黒人の奴隷ジムに出会い、一緒に追われる羽目になる。2人の詐欺師が加わり、やっかいな事件に巻き込まれながらも、自由を求めて旅を続ける。『トム・ソーヤーの冒険』の続編。

ハンニバルの象つかい

ハンス・バウマン作 岩波書店 GYーバ

戦いに敗れた町サグントウムで唯一生き残った12歳の少年は、がれきの中から1頭の象に助け出された。この象は将軍ハンニバルの率いる北アフリカのカルタゴ軍の戦争用の象だった。少年は象つかいとして、カルタゴ軍と40頭の象とともに、敵地ローマを目指してアルプスを越え、険しい道のりを進んでいく。紀元前3世紀末、地中海世界で起こった第2次ポエニ戦争の物語。

ホビットの冒険

J. R. R. トールキン作 岩波書店 GYート

ホビット族(小人族)のビルボは、山肌の居心地のいい穴の家で、平和に暮らしていました。ところが、ある日、魔法使いのガンダルフと13人の傍若無人(ぼうじゃくぶじん)なドワーフ小人たちがやって来て、ビルボを冒険の旅に誘い出します。その昔、竜に奪われたドワーフたちの財宝を取り返そうというのです。ビルボたちは、ゴブリン鬼やオオカミ、巨大なクモに襲われながらも、火を吹く竜が住む山へと向かいます。

ホメーロスのオデュッセイア物語

バーバラ・レオニ・ピカード作 岩波書店 GYーホ

トロイア戦争が終わり、戦いに加わっていた英雄オデュッセウスは、故郷のイタケー島に帰るために船出した。ところが海神ポセイドンの怒りにふれて、

10年間も漂流させられ、冒険と放浪の旅をすることになる。およそ3000年前、ホメーロスによって作られた叙事詩「オデュッセイア」を少年少女むけに再話した物語。対になる本として『ホメーロスのイーリアス物語』がある。

名犬ラッド

ターヒューン作 岩波書店 GYータ

ラッドは大きな美しいコリー犬です。ラッドは、愛する者のために命を投げ出し、死をも恐れない勇気があります。小さいもの弱いものに同情し、誇りを持ち、誠実で、辛抱強く、人懐こく、主人を絶対にうやまい、茶目っ気もあります。この物語を読んだ人は、「こんな犬が本当にいたのか？」と疑うかもしれませんが。しかしラッドは実在した犬で、この物語の事件は、どれも本当にあったことです。

名探偵カツレくん

リンドグレーン作 岩波書店 GYーリ

カツレは、名探偵を志す少年。仲良しのアンデスとエーヴァ・ロッタと3人で白バラ軍を結成し、赤バラ軍とバラ戦争をしたり、古い城跡を探検したり、楽しい夏休みを過ごしていた。そんなある日、エーヴァ・ロッタの家に、エイナルおじさんがやってきた。おじさんの怪しい行動に気が付いたカツレは、調査するうちに宝石強盗との関わり気づく。

モヒカン族の最後

J・F・クーパー作福音館書店 GYーク

18世紀の半ば、アメリカ大陸では、イギリスとフランスが植民地をめぐる争っていた。イギリス軍を率いる父親に会うため、争いの最前線へ向かうコーラとアリスの美しい姉妹がインディアン・ヒューロン族に襲われるが、モヒカン族の酋長の息子アンカスと白人のホークアイによって助けられる。しかし姉妹は、アメリカンインディアンと、ヨーロッパ人との壮絶な戦いに巻き込まれていく。

雪は天からの手紙

中谷宇吉郎著 池内了編 岩波書店 40ーナ

「雪は資源である」という言葉を残した実験物理学者のエッセイ集。〔1章〕北海道十勝岳での雪の研究生活や、零下50度まで下がる低温室で人工雪を作り出すまでの実験経過。〔2章〕寺田寅彦や湯川秀樹などの科学者との交流。〔3章〕茶碗の湯気や線香花火など日頃当たり前とされていることでも、新しい眼で見直せば新しい科学が見えてくること。

いろいろな科学の面白さや、感じ方考え方が紹介されています。

夢を掘りあてた人

ヴィーゼ作 岩波書店 289ーシ

8歳の頃、シュリーマンは、クリスマスに贈られた本の中に、古代ギリシアの都市トロイアが燃えさかり、滅亡する様子を描いた挿絵を見つけました。その日以来、トロイアの遺跡を掘り出すというのが一生の夢になりました。シュリーマンは、勤勉で才能にも恵まれ、病気や火災にあっても不思議な幸運がついて回ります。やがて百万長者となり、47歳のとき、若く美しい妻とともにトロイア平原に発掘の足を踏み入れます。

妖精ディックのたたかい

キャサリン・M・ブリッグズ作 岩波書店 GYーブ

何百年も前からウイドフォード屋敷に住みついている家つき妖精のディックは、その昔この屋敷に隠されたカルヴァー一家の宝を守り続けています。カルヴァー一家が絶えた後、屋敷に商人のウィディスン一家が引っ越してきました。カルヴァー一家の血を引く孤児のアンが小間使いとして雇われ、ひどくこき使われますが、ディックがこっそりと彼女を助けます。夏至祭前夜、この家の娘が魔女にさらわれ、ディックはアンや妖精仲間の助けを借りて魔女と戦います。

ロビンソン・クルーソー

デフォー作 阿部知二訳 岩波書店 GYーデ

世界中を旅したいという冒険心に駆られたロビンソン・クルーソーは、平和な生活から飛び出し船に乗る。ところが船は難破し、たった1人で流れついた所は無人島だった。彼は自分を励ましながら、家を作り、麦を育てパンを作り、ヤギを捕らえて乳を飲んで生き延びる。柱に日数を刻み、病気や孤独や人食い人種の恐怖を乗り越え、やがて船が来て島を出るまでの28年間の物語。

ロビン・フッドのゆかいな冒険

ハワード・パイル作 岩波書店 GYーパ

イギリスの中世、シャーウッドの森に住む弓の名手ロビン・フッドと、腕っ節の強いゆかいな豪傑たちの英雄伝説。彼らは、貧しく困っている人を助け、裕福な貴族や地主から金を巻き上げて暮らしていた。ノッチンガムの郡長は彼らおたずね者たちを目の仇にし、弓試合を開いておびき寄せようとするが、ロビンたちにまんまとやられてしまう。

わたしたちの島で

リンドグレーン作 岩波書店 GYーリ

メルケルソン一家は、長い夏の休暇を過ごすため、ウミガラス島に1軒の家を借ります。到着早々、5人を待ち受けていたのは、ひどい雨漏りと使えない煙突、そして、親切で魅力的な隣人たちでした。次々とやっかいごとを引き起こすパパ、島の自然を愛するしっかり者の姉、やんちゃな3人の弟たち。一家は、本を読んだり、ボートを操ったり、いたづらをしたり、それぞれのやり方で島の生活を楽めます。